

京都大学教育研究振興財団助成事業  
成果報告書

年 月 日

公益財団法人京都大学教育研究振興財団

会長 藤 洋 作 様

所属部局 工学研究科・化学工学専攻・教授

職 名 教授

氏 名 山本 量一

助成の種類	令和5年度・国際会議開催助成		
国際会議名	(和文)第7回ソフトマター国際会議 (英文) The 7th International Soft Matter Conference (ISMC2023)		
開催期間	2023年 9月 4日 ~ 2023年 9月 8日		
開催場所	大阪国際会議場		
参加者	総数 560名	内訳 国内:211名、国外:349名	
成果の概要	タイトルは「成果の概要／報告者名」として、A4版2000字程度・和文で作成し、添付して下さい。「成果の概要」以外に添付する資料 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有( )		
会計報告	事業に要した経費総額	53,086,230 円	
	うち当財団からの助成額	1,000,000 円	
	その他の資金の出所	<small>(機関や資金の名称) 参加登録費、大阪国際会議場、大阪観光局、鹿島学術振興財団、小笠原敏晶記念財団、日本板硝子材料工学助成会、国際純粋・応用物理学連合(IUPAP)、村田学術振興財団</small>	
	経費の内訳と助成金の使途について		
	費 目	金 額 (円)	財団助成充当額 (円)
	旅費交通費	2,364,430	0
	会場・会議費	27,500,000	0
	印刷製本費	1,571,800	82,500
	通信運搬費	1,750,000	0
	謝金	0	0
消耗品費	3,800,000	917,500	
その他	16,100,000	0	
合 計	53,086,230	1,000,000	
当財団の助成について	本会議は2022年度内の開催を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のために2023年9月に開催を延期いたしました。2022年度に助成いただくことになっておりましたが、会議の延期を受け助成を辞退し、2023年度に再申請し、再度受理いただきました。延期の甲斐もあり、海外からの参加者も多く会議は大成功だったと存じます。貴財団の柔軟な対応に改めて感謝申し上げます。		

## 国際会議開催助成 成果の概要

工学研究科・化学工学専攻  
教授 山本 量一

### <開催の成果>

コロイド、高分子、液晶、アクティブマター、ガラスといった様々なソフトマターの分野で、レベルの高い招待講演、一般口頭発表、ポスター発表がなされ、休憩時間や昼食時間を含む様々な場で活発な議論がなされた。これらを機にした共同研究の話もいくつか耳にしており、それらが結実することを期待している。これまでの ISMC に比べて、中国やインドなどアジア圏からの参加者が多く、この地域でソフトマター分野が成長していることが強く感じられた。また、この数年のコロナ禍の影響により、大規模な国際会議に初めて参加する学生も多く、大きな刺激を受けていた様子が見受けられた。多くの参加者から、これまで参加した国際会議の中で、発表内容も組織運営も最もすばらしかったという賞賛の言葉をいただき、大成功であったと組織委員会として満足している。この高まった機運を次の場につなげていきたい。

### <参加者数>

世界 30 か国および地域から、560 人の参加を得た。内訳は、国内から 211 人、国外から 349 人と、半数以上が海外からの参加者であった。

### <プログラム>

サイエンティフィックプログラムの講演数は 513 件であった。内訳は、基調講演 8 件、招待講演 19 件、一般口頭講演 171 件、ポスター講演 315 件であった。また、優れた研究発表を行ったポスター講演者 11 名に対して、ポスター賞が贈られた。

### <謝辞>

本国際会議を開催するにあたり、公益財団法人京都大学教育研究振興財団様よりいただきましたご支援に対し、深く感謝申し上げます。



講演会場の様子



ポスター会場の様子



集合写真

以上